

授 業 要 項

令和8年度

科目名	理学療法研究法			担当者	中川 誠、中村 敦子、米田 愛、 堤 恵志郎、川瀬 翔太				
学 年	3	学 期	前期	学 科	理学療法学科	単位数	2	時間数	60

教育目標 [一般目標]	1. 理学療法分野における科学的な研究の手続きについて学ぶ。 2. 研究法的一端を経験し、考え方を学ぶ。								
授業計画	テーマ	授業内容 [行動目標]					担当者		
	1 研究法総論①	理学療法における研究の意義、研究の種類および研究デザインについて理解する。研究論文を通して、研究の流れを把握し、研究計画の立案が出来る。					堤 恵志郎 (4h)		
	2 研究法総論②	統計学と研究デザインの関わりを理解し、卒論で使用する統計を選択、実施することが出来る。					堤 恵志郎 (4h)		
	3 研究法各論	理学療法分野における研究の意義を知る。研究の過程と流れを理解し、実践できる。研究の目的を明確にできる。研究の方法論を調査、決定できる。研究結果から考察を推測し、自分達の考えを述べる事ができる。研究発表を実施することができる。					中川 誠 中村 敦子 米田 愛 堤 恵志郎 川瀬 翔太 (52h)		
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
授業形態	講義 グループワーク グループ発表								
教科書	特になし								
参考書	適宜紹介								
評価方法	研究課題および発表内容(100%)								
授業時間外の学習	課題提出や発表日程に間に合うように計画的にグループワークを進めること。								
履修上の留意点	グループでの研究課題においては、担当指導教員に指導を仰ぐこと。								
担当者の実務経験	学会での研究発表の実務経験あり								

授業要項

令和8年度

科目名	運動器障害理学療法学Ⅱ			担当者	横井 克佳、神山 卓也、平野 佳代子、 白澤 洋次郎、米田愛				
学年	3	学期	前期	学科	理学療法学科	単位数	2	時間数	45

教育目標 [一般目標]	解剖・運動学など運動器における基礎的知識を理解し、整形外科疾患の病態、評価、治療など臨床における理学療法の考え方を理解する。							
授業計画	テーマ	授業内容 [行動目標]					担当者 (時間数)	
1	教科書および資料を使用し、脊髄損傷を学ぶ	脊椎・脊髄の解剖、神経生理学、臨床症状 呼吸器の障害、臨床症状 褥瘡の病理および治療、臨床症状 尿路管理 排尿・排便の臨床症状、随伴症状・合併症、運動学 残存機能レベルと諸動作、検査・測定 ASIA ADL検査 動作分析、治療技術 筋力強化・可動域訓練、治療技術 諸動作の観察ADL訓練、動作分析 ビデオ演習、演習 ビデオと通じて治療手技を学ぶ					横井 克佳 (15h)	
2	機能解剖学を基に考える整形外科疾患に基づく評価・治療(総論・保存療法・拘縮 他)	病態・障害の把握や解剖学等の基礎的知識が理学療法実施する上で、いかに重要かを理解する。 評価・治療を具現化するための具体的方法論を考え体現することで考え方、技術を体験する。 整形外科部門での画像との関わり方を理解する。また、超音波画像診断装置を使用した学会発表や臨床の応用が増えてきているため実際の使い方や臨床応用を体験する。					神山 卓也 (16h)	
3	スポーツによって生じる外傷・障害に対するリハビリテーションおよび理学療法士としての対応	代表的なスポーツ外傷・障害について、その病態、発生メカニズム、発生要因などを解説する。疾患ごとに理学療法士が取り組むこととなる運動器の機能低下を提示し、評価方法を実技で行う。さらに、競技種目特性も絡め、最も重要となるスポーツ動作の分析方法について、基本的な考え方を学ぶ。これらを総合して、スポーツ外傷・障害へ取り組むための思考プロセスを学ぶ。 また、ケーススタディとして選手の競技復帰についてグループディスカッションを行い、視点を広げる取り組みも行う。					平野 佳代子 (4h)	
4	整形外科疾患の急性期における理学療法・ケーススタディ	急性期運動器障害について説明できる。 急性期運動器障害に対する理学療法について説明できる。 臨床推論を通じて、治療の一端を学ぶ。					白澤 洋次郎 (2h)	
5	膝靭帯損傷後の理学療法	膝靭帯損傷後の運動療法の目的および進め方と留意点を理解する					米田 愛 (6h)	
6	熱傷の理学療法	熱傷後の運動療法の目的および進め方と留意点を理解する					米田 愛 (2h)	
授業形態	講義、ビデオ上映、実技実習、グループディスカッション							
教科書	頸髄損傷のリハビリテーション 改訂第3版 (株)協同医書出版社 印刷物の配布							
参考書	小林寛和編集:アスリートのリハビリテーションとリコンディショニング上巻・外傷学総論／検査・測定と評価—リスクマネジメントに基づいたアプローチ— 文光堂 東京 2010. 競技種目特性からみたリハビリテーションとリコンディショニング—リスクマネジメントに基づいたアプローチ— 文光堂 2014. 赤坂清和編集:スポーツ理学療法学—動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方—第3版. MEDICAL VIEW 東京 2023 浅野昭裕著:運動療法に役立つ単純X線像の読み方 松本正知著:骨折の機能解剖学的運動療法 林典夫著:運動療法のための運動器超音波機能解剖 拘縮治療との接点 坂井建雄監訳:プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学 第5版 医学書院 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学Ⅱ 第2版:中山書店							
評価方法	横井:小テスト20%、論述試験80% 神山:筆記試験100% 平野:レポート60%、授業態度40% 白澤:レポート100% 米田:筆記試験100% 授業時間数に応じて配分							
授業時間外の学習	体表解剖の復習 事前・事後学習として1時間程度							
履修上の留意点	授業内容をレポートにまとめるため、ノートはしっかりとること。活発な意見交換をすること。 上記の内容を復習しておく事。グループディスカッションでは個々の知識の中で積極的に意見を出すこと 関連する解剖学を復習して講義を受けること							
担当者の実務経験	病院勤務による理学療法実務経験あり							

授 業 要 項

令和8年度

科目名	内部障害理学療法Ⅱ			担当者	米澤 久幸、加藤 倫卓、磯村 隆倫 白澤 洋次郎、森 雄司、 中村 敦子、川瀬 翔太				
学 年	3	学 期	前期	学 科	理学療法学科	単位数	2	時間数	45

教育目標 [一般目標]	<p>肺理学療法の技術について説明でき、基本となる手順を行うことができる。 糖尿病理学療法の基礎を理解し、実際の理学療法場面での応用を学ぶ。 急性期における内部障害(呼吸器障害)に対する理学療法の考え方を学ぶ。 内部障害疾患についての理学療法の考え方、進め方を理解する。 がんのリハビリテーションにおける理学療法士の役割について学ぶ。 循環器疾患を引き起こす病態が理解できる。理学療法評価項目を挙げる事ができる。理学療法治療項目を挙げる事ができる</p>							
授業計画	テーマ	授業内容 [行動目標]					担当者	
	1 肺理学療法	呼吸介助手技・肺炎法の知識と実際を学ぶ					米澤 久幸 (4h)	
	2 循環器疾患の病態生理、評価、治療	循環器疾患を持つ患者に対して、疾患に対する病態生理を把握し、治療プログラムの生理学的な背景を理解し、疾患に合わせた治療内容の選択ができるように学習する。また、治療上起こりうるリスク面と、その状態における安全確保について学習する。さらに、エビデンスのある理学療法項目に対して理解できるよう講義する。					加藤倫卓 (4h)	
	3 糖尿病の病態・検査と治療 糖尿病の合併症と治療 糖尿病患者の理学療法評価 糖尿病患者の運動療法 糖尿病患者の患者教育	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の病態と病型分類を理解し説明できる。 ・糖尿病の検査と診断方法を理解し説明できる。 ・糖尿病の治療を理解し説明できる。 ・糖尿病の合併症とその種類を理解し説明できる。 ・急性合併症とその治療および対処方法を説明できる。 ・慢性合併症とその治療および対処方法を説明できる。 ・糖尿病患者に対する理学療法評価が説明できる。 ・糖尿病患者の運動療法の適応と禁忌が説明できる。 ・糖尿病患者における患者教育について理解する。 ・上記を学んだ上でグループワークを行い、実際の場面を想定して糖尿病患者への関わりについて学ぶ。 					磯村 隆倫 (8h)	
	4 急性期における内部障害(呼吸器障害)に対する理学療法・ケーススタディ	急性期呼吸器障害について説明できる。 呼吸器障害に対する理学療法について説明できる。 臨床推論を通して、治療の一端を学ぶ。					白澤 洋次郎 (2h)	
	5 内部障害(循環器障害)に対する理学療法・ケーススタディ	循環器障害について説明できる。 循環器障害に対する理学療法について説明できる。 臨床推論を通して、治療の一端を学ぶ。					森 雄司 (2h)	
	6 呼吸器疾患の理学療法	呼吸器疾患の理学療法について 呼吸器の評価、呼吸不全の病態 酸素療法、人工呼吸器 呼吸器疾患の病態 症例検討					中村 敦子 (10h)	
	7 がんのリハビリテーションの概要 緩和ケアについて リンパドレナージ	がんのリハビリテーションの概要、分類、緩和医療について理解し、理学療法を行ううえでのリスク管理について説明できる。 がん患者に対するリンパドレナージを知る					中村 敦子 (4h)	
	8 循環器疾患の理学療法	循環器疾患(大血管疾患・末梢血管・腎疾患)の評価、病態、理学療法を理解する。					川瀬 翔太 (11h)	
授業形態	講義、実技、グループワーク(グループ発表)							
教科書	15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト内部障害理学療法 呼吸 改訂第3版:中山書店 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト内部障害理学療法 循環・代謝 改訂第3版:中山書店 病気が見えるvol2 循環器疾患,メディックメディア							
参考書	糖尿病治療ガイド2018-2019 日本糖尿病学会 文光堂 糖尿病療養指導ガイドブック2018 日本糖尿病療養指導士認定機構 メディカルレビュー社 内部障害理学療法学,第2版,医学書院 内部障害理学療法学テキスト,改定第3版,南江堂 循環器リハビリテーションの理論と技術,改定第2版,メジカルビュー 極める循環器理学療法-循環器病を有する患者の障害像に挑む-,第1版,文光堂 内部障害理学療法学テキスト,改訂第3版,南江堂							
評価方法	米澤:学修状況40%、レポート60% 加藤:レポート100% 磯村:筆記試験100% 白澤:レポート100% 森:レポート100% 中村:筆記試験(呼吸器100%)、レポート(がん100%) 川瀬:筆記試験 授業時間数に応じて配分							
授業時間外の学習	授業後に実技の練習を学生間でよく行うこと。 2年生の呼吸に関する授業の復習をお願いします 30分~1.5時間程度の事前・事後学習							
履修上の留意点	解剖、生理の知識を再確認して授業に臨むこと。 糖尿病の基礎を理解した上で、実際の理学療法場面でのどのように活用できるかグループワークを行うため自分ならどのように評価するか、何に注意して理学療法を行うのか積極的に意見できるように履修すること。 グループワークでの成果物を基に、そのグループへの点数を付けます。 レポートは個別に実施します。講義での内容をまとめてください。							
担当者の実務経験	病院勤務による実務経験あり							

授業要項

令和8年度

科目名	理学療法学総合演習				担当者	米田 愛、堤恵志郎			
学年	3	学期	前期	学科	理学療法学科	単位数	2	時間数	45

教育目標 [一般目標]	理学療法を実施するために必要な医学の基礎から、専門分野までの知識を再確認・整理し、理解する。								
授業計画	テーマ				授業内容 [行動目標]			担当者 (時間数)	
	1 国家試験で問われる内容について知識を再確認・整理し、理解する				令和7年度の国家試験を活用し、問題の解釈の仕方、解答への導き方について必要な知識を確認し、解答に至るまでの過程を経験する。また、発表を通して、理解し、考え方を共有する。			米田 愛 堤恵志郎 (8h)	
	2 1年次から学習した内容を分野ごとに整理し、理解する				今まで学習した知識を振り返り、その分野における基礎的な知識やポイントを把握できる。			米田 愛 堤恵志郎 (37h)	
	3								
	4								
授業形態	グループディスカッション、グループワーク、発表								
教科書	特になし								
参考書	PT/OT国家試験必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学、臨床医学、基礎PT学、障害別PT治療学								
評価方法	筆記試験(100%)								
授業時間外の学習	分野別の過去問題の事前課題あり。								
履修上の留意点	2年次までに学んだ知識・技術を整理し、実際に使える知識・技術として定着を図れるよう準備・実践すること。授業内でしっかり把握・理解できるよう集中して授業に臨むこと。								
担当者の実務経験	病院勤務による理学療法実務経験あり								

授業要項

令和8年度

科目名	神経障害理学療法学Ⅱ			担当者	横井 淳史、高橋 勇介、 米田 愛、堤 恵志郎				
学年	3	学期	前期	学科	理学療法学科	単位数	2	時間数	45

教育目標 [一般目標]	神経障害理学療法学について学ぶ。 主に脳血管疾患、神経難病の病態・評価・治療について、ケーススタディを基に学ぶ。								
授業計画	テーマ	授業内容 [行動目標]					担当者 (時間数)		
	1 成人コミュニケーション障害の概論 失語症の症状、下位タイプ、評価方法、 失語症患者とのコミュニケーションについて	成人におけるコミュニケーション障害と失語症との違いについて理解する。失語症の症状、下位タイプを理解し、評価方法を学ぶ。失語症者とのコミュニケーション方法を学び、その工夫について考える。失語・高次脳機能領域の解説					横井 淳史 (3h)		
	3 脳性麻痺の理学療法・ケーススタディ	脳性麻痺について説明できる。 脳性麻痺に対する理学療法について説明できる。 症例を通して、脳性麻痺の評価項目を列挙できる。 臨床推論を通じて、治療の一端を学ぶ。					高橋 勇介 (2h)		
	4 脳血管障害 総論、急性期、回復期、維持期 脳血管障害患者の評価と実際	脳血管障害における概要、理学療法の考え方、各期の評価・治療等に関して説明できる。 離床を図る上で安全に施行する手順、治療におけるリスク管理、二次障害の予防を説明できる。 中枢神経系の理学療法の基礎として、運動麻痺、痙縮、感覚障害、高次脳機能障害について説明できる。 脳血管障害による後遺症が、基本動作へ及ぼす影響とその対策を検討できる。					米田 愛 (20h)		
	5 脳血管障害の理学療法・ケーススタディ	脳血管障害について説明できる。 脳血管障害に対する理学療法について説明できる。 臨床推論を通じて、治療の一端を学ぶ。 リスク管理、二次障害の予防を説明できる。					米田 愛 (4h)		
	6 神経難病	神経難病について、その病態の概略を説明することができ、障害の特徴や理学療法におけるリスク管理、病期に応じた理学療法治療プログラムを列挙できる。					堤 恵志郎 (16h)		
授業形態	講義、グループ発表、症例検討、実技実習								
教科書	千田富義・高見彰淑:第3版 リハ実践テクニック 脳卒中, メジカルビュー社 沼田憲治:改訂第2版 脳機能の基礎知識と神経症候ケーススタディ 症例から学ぶリハビリテーション臨床思考, メジカルビュー社 河村満:メディカルスタッフのための神経内科学, 医歯薬出版 田崎義昭他:ベッドサイドの神経の診かた,南山堂								
参考書	理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ, 中山書店 神経難病リハビリテーションの叢智, gene 原寛美・吉尾雅春編:脳卒中理学療法の理論と技術, メジカルビュー社 日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会:脳卒中治療ガイドライン2015, 協和企画 日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会:脳卒中ガイドライン2021[2023] 協和企画 亀田メディカルセンター:リスク管理ハンドブック, メジカルビュー社 網本和・長澤弘・吉村茂和:理学療法チェックリスト, 三輪書店								
評価方法	レポート(横井、高橋)、筆記試験(米田、堤) 授業時間数に応じて配分								
授業時間外の学習	30分～1.5時間程度の事前・事後学習 講義後は配布資料や講義内容を元に1.5時間程度の復習を行うこと 神経障害の疾患、評価等について30分程度の事前学習を行い、講義後は配布資料や講義内容を元に1.5時間程度の復習を行うこと								
履修上の留意点	神経障害の解剖生理、疾患、病態の理解をしておくこと。自ら調べ解釈や考察を進めていくこと。 実習において脳血管障害の患者さんを評価見学した際に困ったことを考えておくこと。 脳性麻痺の特徴、病態について予習をお願いします。								
担当者の実務経験	病院勤務による理学療法実務経験あり								